

新しい農業委員会がスタートしました！

前委員の任期満了に伴い、令和6年9月10日(金)、三宮研修センターにおいて第12回定期総会を開催し、新委員による農業委員会がスタートしました。

会長あいさつ



神戸市農業委員会
会長 前中 悠一

◆新委員の任期は、令和9年9月9日までの3年間です。

次のページに新委員の皆さんを紹介しています。

なお、委員の皆さんの互選により選出された運営委員は次の方々です(敬称略)。

★神戸市農業委員会 運営委員

会長	◆ 前中 悠一 (大沢地区)
会長代理 (第1順位)	◆ 松下 勇人 (押部谷地区)
会長代理 (第2順位)	◆ 西浦 秀男 (八多地区)
推進委員長	◇ 定連 仁 (伊川谷地区)
推進委員長代理	◇ 石井 保行 (大沢地区)
地区選出委員	◆ 中西 和子 (山田地区)
	◇ 杉浦 元治 (淡河地区)
	◆ 小池 雅裕 (櫛谷地区)
	◇ 浅原 康行 (神出地区)

(注) ◆農業委員 ◇推進委員

農業者の皆さま方には、日頃から農業委員会の活動に格別のご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

このたび、引き続き会長を務めさせていただくこととなり、改めて身が引き締まる思いです。農業者を代表する機関として神戸市の農業振興に力を尽くしてまいりたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

今回の改選におきまして農業委員19名、推進委員31名、計50名により新たな体制で農地行政を進めていくわけですが、ご承知のように農業従事者の高齢化や担い手不足の深刻化、遊休農地の発生など、避けては通れない課題を抱えております。

一方で、神戸市では、都市部と農村が近接した立地を生かして、都市近郊農業や観光農業が盛んに行われてきました。また、最近では、都会を離れ農業を志す人や里山暮らしを希望する人も増えており、こうした動きを取り込みつつ、農業を取り巻く環境が大きく変化していく中で、しっかりと農地を守っていくことができるよう農業委員・推進委員が一丸となって、知恵を出し合い、農業委員会の使命を果たしてまいりたいと考えております。

今後とも引き続きご支援をいただきますようお願いいたします。

新委員（農業委員・農地利用最適化推進委員）のみなさん



◆平見 耕三 委員
有馬・有野地区



◇寺西 宗正 委員
有馬・有野地区



◆中西 和子 委員
山田地区
地区選出委員



◇谷口 悟 委員
山田地区



◆前 圭治 委員
道場地区



◇前中 修 委員
道場地区



◆西浦 秀男 委員
八多地区
会長代理2(農政)



◇中澤 惣一郎 委員
八多地区



◇森 丈実 委員
八多地区



◆前中 悠一 委員
大沢地区
会長



◇石井 保行 委員
大沢地区
推進委員長代理



◇溝部 康人 委員
大沢地区



◆大西 尚 委員
長尾地区



◇片山 正行 委員
長尾地区



◆小南 勝紀 委員
淡河地区



◆相良 真由美 委員
淡河地区



◇福井 孝弘 委員
淡河地区



◇杉浦 元治 委員
淡河地区
地区選出委員



◇藤原 一哉 委員
淡河地区



◇山本 穂積 委員
淡河地区



◆中西 政嗣 委員
須磨・垂水地区



◇古東 良教 委員
須磨・垂水地区



◆池田 辰也 委員
伊川谷地区



◇定連 仁 委員
伊川谷地区
推進委員長



◇谷井 敏朗 委員
伊川谷地区



◆北井 保秀 委員
玉津地区



◇吉本 良秀 委員
玉津地区



◆小池 雅裕 委員
榎谷地区
地区選出委員



◇増田 信彦 委員
榎谷地区



◆松下 勇人 委員
押部谷地区
会長代理1(農地)



◇北井 嘉彦 委員
押部谷地区



◇財田 義隆 委員
押部谷地区



◇中西 基浩 委員
押部谷地区



◆中部 義昭 委員
平野地区



◇神尾 隆雄 委員
平野地区



◇戸田 由紀子 委員
平野地区



◇藤田 悦雄 委員
平野地区



◆西馬 昌典 委員
神出地区



◆古川 エリ子 委員
神出地区



◇西馬 良徳 委員
神出地区



◇山本 章博 委員
神出地区



◇浅原 康行 委員
神出地区
地区選出委員



◇分玉 基弘 委員
神出地区



◇長田 真人 委員
神出地区



◆今井 高三 委員
岩岡地区



◆小西 祐之 委員
岩岡地区



◇田中 賀久 委員
岩岡地区



◇松井 雅広 委員
岩岡地区



◇正井 滋和 委員
岩岡地区



◆吉田 邦子 委員
中立委員

(注)

- 1 凡例：◆農業委員（定数19名）◇推進委員（定数31名）
- 2 任期：令和6年9月10日～令和9年9月9日（3年間）

第71回・72回・74回 月例総会 結果報告

【現地調査を実施】

月例総会で審議する案件について、農業委員と事務局職員で7月17日(水)、8月16日(金)、9月17日(火)に現地調査を行いました。



【審議・決定結果概要】

月例総会の結果は以下のとおりです

総会開催日 【71回】 7/30(火)
 【72回】 8/29(木)
 【74回】 9/30(月)

		件数		
		71回	72回	74回
農地の権利移動(法3条)	所有権移転	7	8	8
農地の権利移動(相続等、許可不要)(法3条の3)		9	8	5
権利移動を伴わない転用(法4条)	市街化区域	2	8	6
	調整区域	0	2	3
権利移動を伴う転用(法5条)	市街化区域	6	3	1
	調整区域	2	9	6
賃借権の解約(法18条)		2	3	3
利用権の設定		20	25	15

【新規就農者のご紹介】

7月から9月に新たに新規就農された方は次のとおりです。地元農家の皆様、どうぞよろしくお願ひします。

新規就農者	年齢	就農地
工藤 菜央	30代	西区伊川谷町
本田 洋一	60代	西区伊川谷町
河本 哲弥	30代	北区淡河町
松尾 圭一郎	40代	西区平野町
長瀬 寿幸	60代	西区押部谷町
切原 卓	20代	西区玉津町

新規就農者	年齢	就農地
恵良 優太郎	30代	西区平野町
大谷 敬亨	50代	北区淡河町
加藤 悠太	40代	北区道場町
藤原 奈々	40代	北区八多町
NAE LAB 株式会社	—	北区大沢町

【神戸市農業委員会の今後の活動(予定)】

- 新任委員研修会 10月11日(金) 午後2時から (三宮研修センター 6階 605会議室)
- 第75回 月例総会 10月30日(水) 午後2時から (三宮ビル東館)
- 第76回 月期総会 11月28日(木) 午後2時から (三宮ビル東館)
- 第77回 月例総会 12月25日(水) 午後2時から (三宮ビル東館)

会議の日時・場所等は都合により変更される場合があります。



農政施策に関して市長と意見を交わしました！

農業委員会では、従来から、農政施策に関する課題を踏まえた意見を取りまとめ、市長に提出してきました。今年度は農地を守るという観点から、地域に密着した取り組みを行っている農業者を農業委員・推進委員が取材し、農業者や地域が抱える課題や課題解決のための方策などを動画にまとめ、8月21日(水)に前中会長はじめ5名の役員が久元神戸市長を訪ね、作成した動画を視聴したあと意見交換を行いました。

当日は、大規模経営の担い手となる人材の育成制度の具体化や米の消費拡大に向けたPRの強化、集落営農組織への支援などについて要望し、意見交換では、遊休農地の復元や移住・定住促進などについて幅広い議論が交わされました。

引き続き農業者の思いが市政に反映されるよう活動を行っていきます。



農地の利用状況調査について

農業委員会は、農地法に基づき、毎年1回、管内の農地の利用状況についての調査(農地パトロール)を行い、さらに、遊休農地の所有者に対し、利用意向調査を実施しています。

今年度も12月上旬から中旬にかけて、農業委員会が地域を巡回し、農地の利用状況を調査します。調査後は、遊休農地に対して農地への復元を促すなど解消を図っていきます。調査の際には、農地の中に立ち入る場合がありますので、ご理解とご協力をお願いします。

遊休農地と判断される農地

- 1年以上耕作されておらず、かつ、今後も耕作される見込みがない。
- 周辺地域の農地と比較して、利用の程度が著しく劣っている。



【 調査の流れ 】

12月

利用状況調査

事前の基礎調査により作成した遊休農地調査地図をもとに、委員会で現地調査を実施し、利用意向調査対象農地の選定に向けた検討を行います。

4月～10月

利用意向調査

遊休農地の所有者に対し、今後の利用意向調査を実施します。
【 調査内容 】
■ 自ら耕作するのか
■ 誰かに貸し付けるのか、売りたいのか など

協議勧告

農地所有者に対し、農地中間管理機構との協議勧告を行います。(農業振興地域が対象)
【 勧告対象者 】
■ 意向の意思表示がない
■ 意向の意思表示はあるが、権利の設定・移転を行っていない、又は利用の増進を図っていない

農地管理ができず、売りたい・貸したい場合

農地の売り先や借り手を探しているがなかなか見つからないという方は、次の方法を利用して探すこともできます。

農地バンク(神戸・里山暮らしのすすめ)

WEBへ農地の情報を掲載できます。

(078)984-0387

(窓口：神戸市農業委員会)

<https://kobe-satoyama.jp/>

